

報道関係者各位

(本資料は、2018年7月6日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です)

2018年7月6日

ボストン コンサルティング グループ

## 2017年までの5年間における企業価値創造に優れた大型企業のランキングを発表 日本企業ではソニーとキーエンスがトップ10入り～BCG調査

### トップ10社中、9社がテクノロジー、メディア関連企業

ボストン発、2018年7月6日 —— 経営コンサルティングファームのボストン コンサルティング グループ(以下、BCG)は、企業価値創造に優れた大型企業のランキングの最新版を発表しました(“The 2018 Value Creators Rankings”)。本稿には、2013～2017年の年平均トータル・シェアホルダー・リターン(TSR、株主総利回り)に基づく大型企業のランキングなどが掲載されています。これは、約2,400社の全調査対象のうち、2017年末時点での時価総額上位200社を対象としたランキングです。

### トップ10社中、テクノロジー、メディア・出版の関連企業が9社を占める

今回のランキングでは、ソニー(6位)、キーエンス(7位)を含め、トップ10社のうち9社、トップ20社のうち13社をテクノロジー、メディア関連企業が占めていました<sup>1</sup>。画像処理半導体(GPU)のトップ企業であるNVIDIA(アメリカ)が1位、動画配信大手のNetflix(アメリカ)が2位、通信用半導体大手のBroadcom(シンガポール)が3位、ネットサービス大手のTencent Holdings(騰訊控股、中国)が4位となりましたが、この4社はいずれも昨年のランキングでも4位以内に入っていた企業です。5位はIPO後5年が経過し、今回初めてランキングの対象となったFacebook(アメリカ)でした。テクノロジー、メディア関連以外の企業では、中国の伝統蒸留酒「白酒」のメーカー、Kweichow Moutai(貴州茅台酒、中国)が唯一10位にランクインしました(図表1)。

図表1: バリュークリエーターズ・ランキング—世界の大型企業  
企業価値創造に優れた企業ランキング (対象: 時価総額上位200社、期間: 2013～2017年)

順位	企業名	本社所在地	業種	時価総額 (2017/12/31時点) (億ドル)	年平均 TSR (2013 - 2017年、%)	構成要素 (%ポイント) <sup>1</sup>					
						利益成長		バリエーション マルチプル 変化 (EBITDA)	フリーキャッシュフロー 配当 利回り	発行済 株式数 変化率	レバ レッジ 増加率
						売上 成長	マージン 改善	+	+	+	+
● 1	NVIDIA	アメリカ	テクノロジー	1,173	76.1	16.8	12.0	54.7	2.4	0.6	-10.5
2	Netflix	アメリカ	メディア・出版	831	70.7	26.5	31.1	17.4	0.0	-2.1	-2.1
3	Broadcom	シンガポール	テクノロジー	1,052	54.6	49.5	6.3	13.3	0.0	-9.7	-4.8
4	Tencent Holdings	中国	メディア・出版	4,897	53.6	40.2	0.5	14.0	0.4	-0.5	-0.9
5	Facebook	アメリカ	メディア・出版	5,128	46.0	51.5	16.8	-15.7	0.0	-5.7	-1.0
● 6	ソニー	日本	テクノロジー	570	40.8	5.0	25.0	-2.4	1.2	-4.5	16.4
● 7	キーエンス	日本	テクノロジー	680	39.9	16.2	3.3	24.2	0.4	0.0	-4.1
8	Amazon	アメリカ	小売 <sup>2</sup>	5,635	36.1	23.8	17.0	-1.9	0.0	-1.2	-1.6
9	Adobe Systems	アメリカ	テクノロジー	864	36.0	10.6	0.4	26.2	0.0	0.1	-1.4
10	Kweichow Moutai	中国	非耐久消費財	1,347	35.1	17.1	-1.9	17.0	2.9	0.0	0.0

注: 2017/12/31時点での時価総額世界上位200社を対象

注1: 端数調整のため、各要素の合計がTSRに一致しないことがある

注2: Amazonは、過去のレポートとの整合性を取って小売に分類したが、現在の同社のポートフォリオを勘案すると、テクノロジーに分類するのが妥当な可能性がある

出所: S&P Capital IQ; 企業IR資料; BCG バリュースイエンセンター®; ボストン コンサルティング グループ分析

© The Boston Consulting Group 2018 - All Rights Reserved.

本稿の共著者、BCG ベルリン・オフィスのシニア・パートナー、アレクサンダー・ルースは、「バリュークリエーターズ・レポート」の20年の歴史の中で、特定の業種がこれほどまでに上位を独占したことはありません。今回のラン

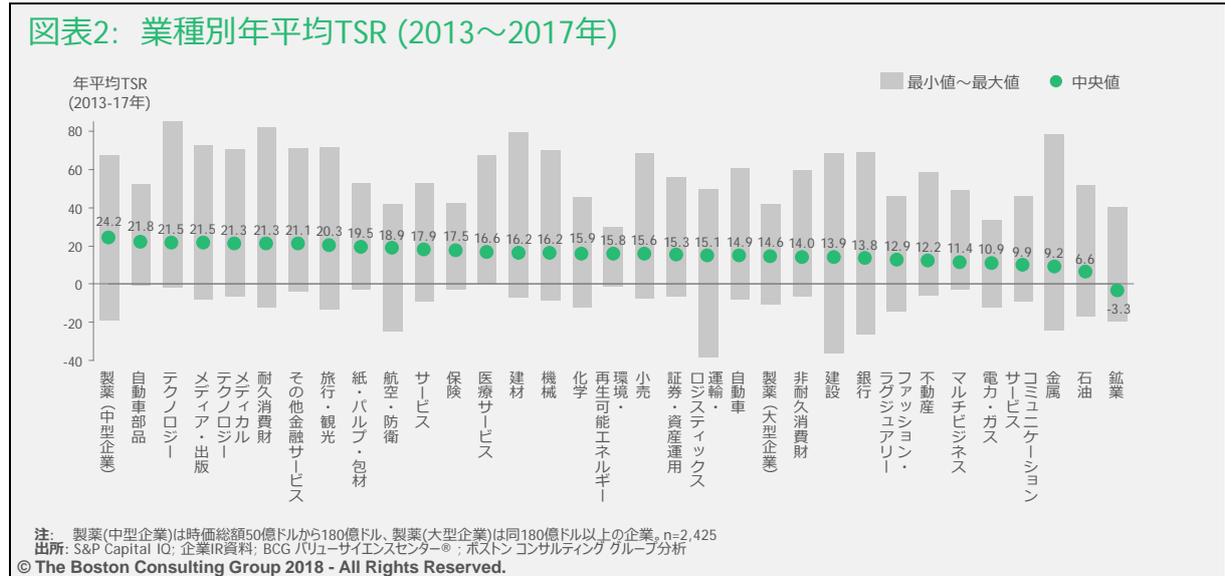
<sup>1</sup> Amazon は、過去のレポートとの整合性を取って小売に分類されていますが、現在の同社のポートフォリオから、文中ではテクノロジー関連企業と位置付けています。

キングは、企業価値創造においてテクノロジーやデータ、そしてコンテンツがどれほど重要であるかを示しています」とコメントしています。

## 全調査対象約 2,400 社の中では、アジア企業のパフォーマンスが高い

株式市場の好況を反映して、全調査対象約 2,400 社の TSR の中央値は 15.6%と、長期的な平均値である約 10%を大きく上回りました。33 の業種別に 2013～2017 年の 5 年間の年平均 TSR の中央値を比較すると、1 位の「製薬(時価総額 50 億ドルから 180 億ドルの中型企業)」、2 位の「自動車部品」は昨年と変わらず、「テクノロジー」が昨年 13 位から 3 位、「メディア・出版」は昨年 7 位から 4 位に順位を上昇させたことが明らかになりました(図表 2)。

図表2: 業種別年平均TSR (2013～2017年)



大型企業ランキングではトップ 10 社中 5 社をアメリカの企業が占めましたが、全対象企業のなかでトップ企業を特定すると、トップ 10 社のうち 7 社、トップ 100 社のうち 60 社以上をアジア企業が占めていました。「アジアの新興企業の高いパフォーマンスは、今、トップに名を連ねるグローバルの巨大企業が数年のうちに、現段階では企業自身やこれら企業に投資する投資家の照準には入っていないような、新たなチャレンジャーの挑戦を受ける可能性を示唆しています。注目すべきは、急速に力を付けている企業は世界中にあり、新規参入者としてのみならず、競合相手としても、M&Aを仕掛ける側としても、次の勢力となりえるということです」と、本稿の共著者である BCG ニューヨーク・オフィスのアソシエイト・ディレクター、ハーディ・ファラグはコメントしています。

### ■ 調査レポート

「The 2018 Value Creators Rankings」

[http://image-src.bcg.com/Images/BCG-Value-Creators-Interactive-2018-July-2018-R-2\\_tcm9-195813.pdf](http://image-src.bcg.com/Images/BCG-Value-Creators-Interactive-2018-July-2018-R-2_tcm9-195813.pdf)

インタラクティブランキングを含む特集ページはこちら

<https://www.bcg.com/publications/2018/interactive-value-creators-rankings-20th-anniversary-edition.aspx>

### ■ 調査の概要

トータル・シェアホルダー・リターン (TSR、株主総利回り)とは企業価値創造の測定指標。ある一定期間における配当と株価の値上がりの総利回り、株主にとっての投資収益性を示します。本調査ではグローバルで 33 業種の 2,425 社を対象に 2013～2017 年の 5 年間にわたる年平均 TSR を分析しました。BCG では、同種の調査を 1999 年より継続して行っており、今回が 20 回目の調査となります。

## ■ 日本における担当者

加来 一郎



パートナー&マネージング・ディレクター

BCG コーポレートディベロップメントグループのアジア・パシフィック地区リーダー、プライベートエクイティグループの日本リーダー。

慶應義塾大学経済学部卒業。住友商事株式会社、外資系コンサルティングファーム、PEファンドを経て現在に至る。

## ■ ボストン コンサルティング グループ (BCG) について

BCG は、世界をリードする経営コンサルティングファームとして、政府・民間企業・非営利団体など、さまざまな業種・マーケットにおいて、カスタムメイドのアプローチ、企業・市場に対する深い洞察、クライアントとの緊密な協働により、クライアントが持続的競争優位を築き、組織能力(ケイパビリティ)を高め、継続的に優れた業績をあげられるよう支援を行っています。

1963 年米国ボストンに創設、1966 年に世界第 2 の拠点として東京に、2003 年には名古屋に中部・関西オフィスを設立しました。現在世界 50 カ国、90 都市に拠点を展開しています。

<https://www.bcg.com/ja-jp/default.aspx>

## ■ 本件に関するお問い合わせ

ボストン コンサルティング グループ マーケティング 直江・嶋津

Tel: 03-5211-0600 / Fax: 03-5211-0333 / Mail: [press.relations@bcg.com](mailto:press.relations@bcg.com)